

Refine_USDJPY_M1_MT5(MT5)の概要（バックテスト結果に基づく紹介）

【設定概要】

- ①通貨：USDJPY
- ②ロット：0.1
- ③バックテスト期間：2021/1/4～2024/12/28
- ④モデリング品質：100%

【取引概要】

- ①総取引回数：2,099回
 - ➡約4年間で年間平均520回前後のペース。最大同時保有ポジションは1。
- ②平均獲得PIPS：1.73pips
 - ➡勝ち平均 +15.13pips、負け平均 -21.11pips。リスクリワード比は約0.72（＝勝ち1に対して負け1.4前後）。勝率63.0%。
- ③損益分岐率：58.3%
 - ➡勝率との差は+4.7pt。PF1.21を背景に、バックテスト上での収益性を確認。

【特徴】

- ◆バックテスト上の総損益は +350,092円（初期証拠金100万円・Lot固定0.1）。
- ◆最大DDは -43,205円（相対DD -4%）と低水準。
- ◆バックテスト期間において、総取引回数が多く、短期的なトレード頻度が高いタイプ。

【留意すべき点・リスク】

- ◆リスクリワードは0.72と低め。勝率依存型の戦略であり、勝率が低下すると収益性が落ちやすい。
- ◆月単位ではマイナスも頻発（例：2022年7月 -16,419円、2022年8月 -23,176円、2023年7月 -20,958円）。
- ◆長期的には利益を積み上げているが、短期的な荒れに対しては資金管理に注意が必要。

【補足】

本資料はバックテスト結果に基づいて特徴を整理したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
実際の取引環境（スプレッド、約定速度、口座条件など）によって結果が異なる可能性があります。